

下地島宇宙港事業

①事業の進捗状況

<利活用事業者>

PDエアロスペース(株)(愛知県名古屋市)
※当該法人が別途設立する法人も含む

①無人/有人機技術実証事業

- 無人飛行技術実証機(X06)の地上試験を実施中。
- 拠点化整備として、旧JAL機材庫を実験機の整備場に、旧JAL棟1階部を事務オフィスとして運用中。
- SAFCO, SASCOなど空港既存各社と業務連携を展開中。



②テナント事業

- 次期実験機(X07)用ハンガールの設計が完了し、令和5年度内に着工予定。
- 宇宙港利用希望企業(海外1社)とMOU(了解覚書)締結。国内企業とも調整中。

③訓練事業

- 事業スタートに向けて、連携先と調整開始。(メディカル検査、設備など)

④観光事業

- 令和3年6月に下地島宇宙港事業推進コンソーシアムを設立。
(登録企業数:57社、サービス開始:5案件)

②事業の実績

<下地島空港からの
宇宙旅行者数>
目標 実績
○令和7年度 100人 -
○令和12年度 1,000人 -

<事業スケジュール>※参考

目標	予定
令和3年	令和5年 無人実験機の飛行試験
令和4年	令和7年 ハンガー・観光/訓練施設建設、開業準備
令和5年	令和9年 テナント事業、訓練事業、観光事業本格受入開始

③事業の進捗評価

令和3年度 下地島空港からの宇宙旅行者数

目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)	進捗評価※
-------	-------	----------	-------

目標設定年次前。事業スケジュールに遅れが生じており、今後見直しを予定。

※90%以上:順調、75%以上90%未満:概ね順調、60%上75%未満:やや遅れ、60%未満:大幅遅れ

④今後の取組

引き続き、無人飛行技術実証機(X06)の試験を実施し、段階的な機体開発に取り組む。
令和5年度内には、飛行試験の実施、ハンガー(格納庫)の建設に着工し、施設貸出・利用等のテナント事業に取り組む。また、コンソーシアム事業者と観光事業にも着手する。
県が整備する関連社会資本整備事業(空港構内道路)は、令和4年度に着工し、令和5年度に開通を予定している。

県による事業レビュー

無人飛行技術実証機(X06)の現地試験等に取り組んでいるものの、事業計画に遅れが生じている。今後、機体開発に加え、ハンガーを活用したテナント事業等についても着実に進める必要がある。